

行政処分等への対応・再発防止に向けた取組

SMBC日興証券の元役職員が金融商品取引法第159条第3項(違法な安定操作取引)に違反した事態(相場操縦事案)と同社および三井住友銀行の役職員の間で非公開情報を授受した事態(銀証ファイアウォール規制違反事案)を受け、当社では、取締役会

の下にプロジェクトチームを設置し、経営管理体制上の課題や改善策等について、議論を重ねてきました。また、取締役会では、各改善策の進捗状況の監督や、施策の実効性についての議論を行う等、執行サイドへの関与を強化してきました。

	相場操縦事案	銀証ファイアウォール(FW)規制違反事案
事案概要	SMBC日興証券が、10銘柄の上場株式について、ブロックオフ取引における売買価格の基準となる執行日の終値等が前日の終値に比して大幅に下落することを回避し、その株価を一定程度に維持しようとして、各株式の相場を安定させる目的をもって、一連の指値による買付および買付の申込を実施した事態。	SMBC日興証券と三井住友銀行との間において、法人顧客から情報共有の停止を求められていること、または情報共有の同意を得ていないことを認識しながら、当該法人顧客に関する非公開情報の授受が複数回にわたって行われていた事態。

2022年11月、当社、SMBC日興証券および三井住友銀行の3社は、同様の事態を二度と繰り返さないよう、取締役会での議論を踏まえて改善策を策定し、公表しました。以降、改善策の着実な実行等を通じた経営管理体制および内部管理体制の強化ならびに健全な組織文化の醸成等に取り組んでいます。

改善報告書の提出から半年が経過し、各改善策の策定・構築については概ね計画通り進捗しています。今後、引き続き改善策の実行を進めるとともに、各改善策の実効性検証を行った上で、浸透・定着を図っていきます。

再発防止策の進捗状況

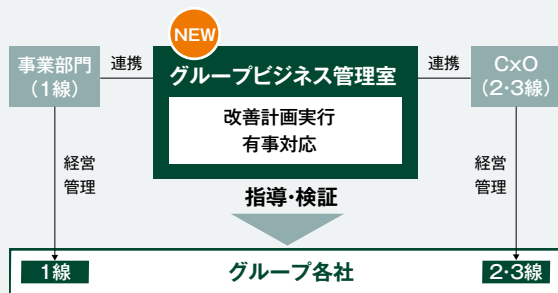
2022年11月 改善計画策定

現在

	再発防止に向けた枠組の策定・構築	実装・実効性検証	浸透・定着
相場操縦事案	<p>① 経営管理体制の強化 <SMBC日興証券></p> <ul style="list-style-type: none"> 経営執行の監督強化 新たな社外取締役の招聘 役員向けコンプライアンス研修実施 「守り」への重点的な資源配分 2線・3線における人員増強および内部管理体制強化のための100億円超のIT投資 1線・2線の専門性強化 外部人材の積極採用 「商品・サービス協議会」設置 リスク課題およびそれらへの対応を1線・2線で協議 <p><当社></p> <ul style="list-style-type: none"> SMBC日興証券の役員人事・資源配分計画への関与強化および十分性の検証 	<p>② 内部管理体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 3線管理の実効性向上 外部知見を活用した戦略実現のための仕組の策定・実装 コンプライアンス部門の再編 統括機能強化、役割・責任の明確化 「不正取引防止部会」設置 不正取引のリスクについて、1線・2線が議論することにより 売買管理体制を強化 	<p>③ 健全な組織文化の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たな理念体系の策定 従来の理念体系を再構築し、SMBCグループの「Five Values」を内包 経営陣と従業員との対話 改善策や会社の方向性等を議論する場の設定(計271拠点で開催済)
銀証FW規制違反事案	<p>④ 経営管理体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 内部通報勉強会の実施 当社コンプライアンス部の体制強化 	<p>⑤ 顧客情報管理体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報管理ルールの制定・徹底 人工知能等を活用した 事後モニタリングの高度化 	<p>⑥ コンプライアンス意識醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス研修管理規則の制定、研修機会の拡充

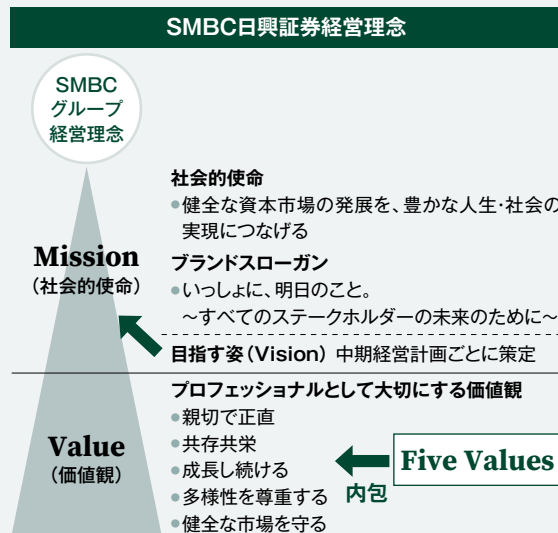
当社：「グループビジネス管理室」の設置

グループベースでの有事対応力強化のため、当社内に「グループビジネス管理室」を設置しました。SMBC日興証券のみならず主要グループ8社を中心にコミュニケーションと有事対応力を強化していきます。



SMBC日興証券：新たな理念体系の策定

理念体系を十分に全社へ浸透させるため、従来の理念体系をより分かりやすく再構築するとともにSMBCグループ共通の価値観である「Five Values」を内包した、SMBC日興証券として大切にしている5つの価値観を新たに決めました。



SMBC日興証券：経営陣と従業員との対話

経営陣がコンプライアンスおよびリスク管理の徹底について明確なコミットメントを示した上で、営業現場の従業員との双方向のコミュニケーションを強化しており、社内の計271拠点で、経営会議メンバーによるタウンホールミーティングを実施しました。対話の中で従業員から出た意見等を経営会議メンバーで議論し、各種施策へ反映していきます。



SMBC日興証券：コンプライアンス部門の再編

内部管理体制の強化を目的にコンプライアンス部門の組織・運営の見直しを実施しました。コンプライアンス統括に副社長を選任する等、コンプライアンス部門の位置付けを向上させたほか、ファンクションごとにコンプライアンス担当部署を再編し、役割・責任の明確化を図りました。

2線 (コンプライアンス部門)

